

個を生かす学年・学級 経営に関する研究

学校経営部

一、研究のねらい

学年・学級は、児童生徒の学習や生活のすべての基盤であり、主体性や社会性の育成の場、個性伸長の場でもある。

本研究は、このことを基底に、児童生徒一人一人の個性が生きる学年・学級経営の在り方を追究する。

二、研究計画

本研究は、平成二年度から三年計画で実施している。第一年次は「個を生かす学年・学級経営」に対する実態調査、第二、第三年次は個を生かす具体策を完成する。

三、第一年次の研究（平成二年度）

本研究では、全国教育研究所連盟福島大会（平成二年）において合意された次の視点を手がかりに研究を進めた。

個を生かす四つの視点

- 視点一 個の存在を認め、個の存在を大切にする内容・方法を明確にすること
- 視点二 個の特性をとらえ、生かす内容方法を明確にすること
- 視点三 認知面に偏ることなく、情意的側面との調和を考えた実践活動の在り方を探すこと
- 視点四 個性豊かな生き方のための基礎・基本の習得を重視する内容・方法を探すこと

実態調査は、四つの視点から実施した。視点二にかかる調査結果の例を次に示す。

○個の特性が生かされていると思ひますか	十二%
●十分に生かされている	八十四%
●生かされているとはいえない	四%
*生かされていない主な理由は、	
●時間が十分に取れない	
●指導の仕方が分からぬ	
●特性の把握が難しい	
●生かされていない理由は、	
●時間がない	
●指導の仕方が分からぬ	
●特性の把握が難しい	

調査結果を大きくまとめるに、「個性重視の理念は分かるが学年・学級経営上の迷いがある」ということで、「方法がよく分からない」、また「指導も困難だ」としている。

これらの結果を基に、視点一～視点四のそれぞれにアプローチする内容・方法を策定し次年度研究の方向づけをした。縮刷りの「それには」と「そのため」の部分である。

四、第二年次の研究（平成三年度）

- (1) 「個を生かす学年・学級経営アイディア集」の作成

「個を生かす学年・学級経営」を行うには具体的な内容・方法を明らかにする必要がある。この観点から「いつ、どこで、だれが、何を、どのようにすればよいのか」について指導例や活動例を収集・開発し事例集としてまとめたものである。この事例集により、「個を生かす学年・学級経営」の在り方が具体的に分かるようにした。